

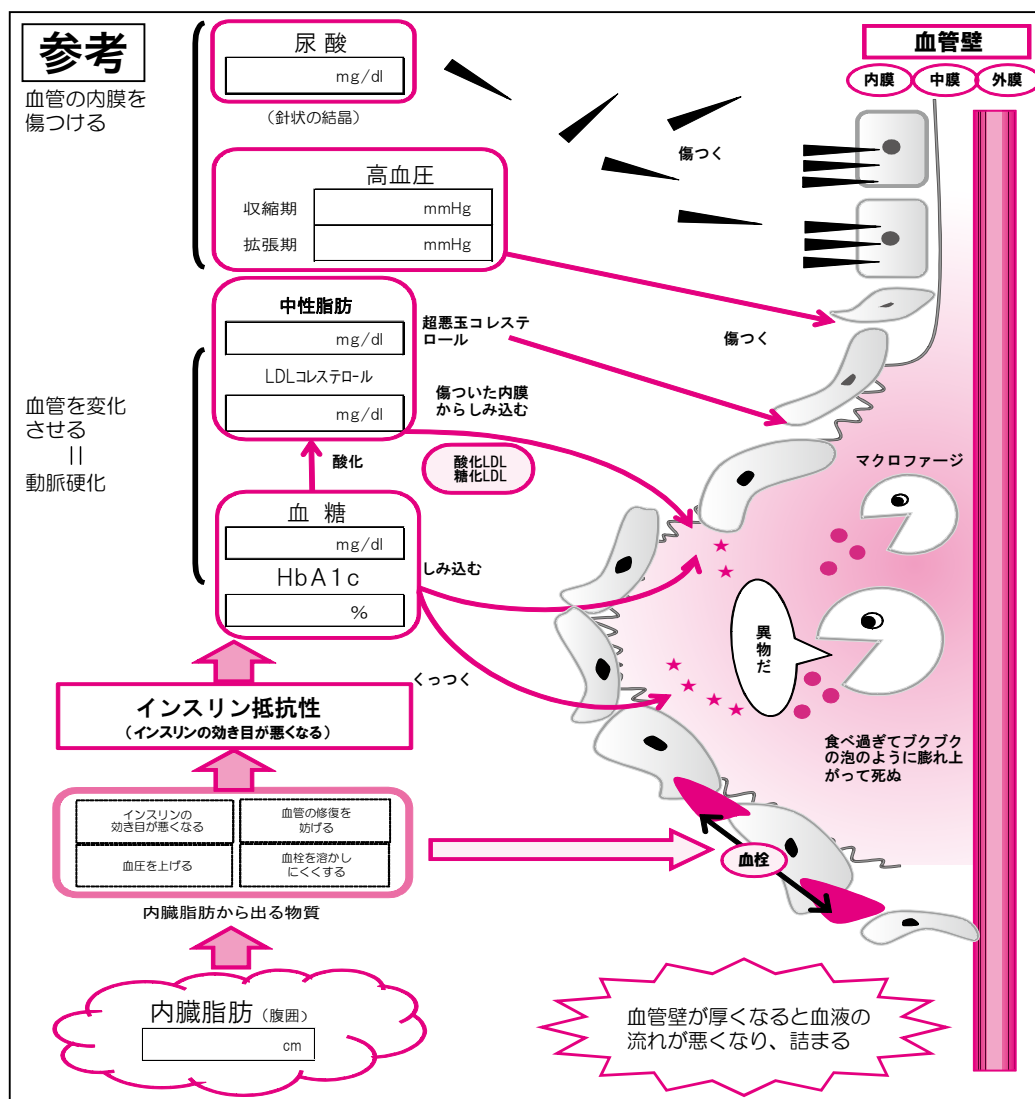
# 特定保健指導は あなたの健康づくりを応援します

特定健診は主に血管の変化を診る健診です。特に、脳・心臓・腎臓は血管が集まっている臓器です。血管を傷める原因となる検査結果の異常があると、脳梗塞、心筋梗塞、人工透析などの健康障害が起こりやすくなります。

健診・保健指導を受けて、確認してみましょう！

【特定保健指導は以下のような資料を用いて行っています】

## メタボリックシンドロームと動脈硬化



→メタボリックシンドロームの人は、血管を傷める因子を併せ持っている！

血管の断面図を表した資料で、健診結果を記入し、それぞれの血管に与える影響がわかります。血圧が高くなると血管壁を傷つけます。尿酸が高くなると針のような結晶ができ、血管壁を突き、傷つけます。血糖が高くなると、血管壁にくっついたりしみ込んだりして血管壁を変化させます。脂質は、血管壁の中にしみ込みプラーク（こぶ）を作り、血管の内側を狭くします。また、「高血圧に高血糖」など、因子が重なるにつれ、血管変化が進みます。

■問い合わせ■ 健康推進課[総合保健福祉センター（かがやき）内] ☎54-7121